

# 「在宅がんのリハビリテーション診療」研修会

## -在宅がんのリハビリテーション診療の普及に向けて-

がん患者では治療や病状の進行に伴い生活機能に障害を来し生活の質が低下することから、リハビリテーション診療の重要性が指摘されています。がんのリハビリテーション診療の均てん化のためにはリハビリテーション診療を提供する側の資質の向上が必要であることから、厚生労働省後援「がんのリハビリテーション研修(CAREER)」が実施されており、のべ5万名以上のがん診療に携わる医療従事者が受講し成果をあげています。

一方、がんサバイバーが治療を受けている時期だけではなく、後遺症対策やスムーズな社会復帰、生涯にわたる身体活動や運動習慣を維持するためには、がん診療連携拠点病院等の医療機関での入院中だけではなく、外来や在宅医療等においてもリハビリテーション診療が実施できる体制の構築が求められています。そのために、私たちはどんなことに取り組みればよいのでしょうか。

このたび、在宅がんのリハビリテーション診療の実践に向けた研修会を開催します。ぜひご参加いただき、ご意見ご提案をお寄せください。

2023年  
**9.23** 土  
13:30~15:30  
参加費無料

オンライン  
開催

### 目的

在宅がんのリハビリテーション診療の実践と多職種連携の方法を理解すること

### 到達目標

- ① 在宅がんのリハビリテーション診療の実践に必要な要素を説明できる
- ② がん治療を行う医療機関との連携の方法を説明できる
- ③ 在宅がん患者の支援に向けた多職種連携の意義を説明できる

### 申込方法

#### ●申し込み

下記イベントページの申込フォームよりお申し込みください。

<https://lpc.or.jp/cre/event/>

申込期間: 8月1日(火) ~ 9月13日(水)

※当日参加のための視聴方法については、ご登録いただいたメールアドレスに9月14日(木)以降に送信いたします。



#### ●対象

医師、歯科医師、看護師、ケアマネージャー、医療ソーシャルワーカー、リハビリテーション専門職、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等、地域でのがんリハビリテーションに興味のある医療・福祉職すべて



研修終了後にアンケートにご協力をお願いいたします。当日ご参加され、アンケートに回答いただいた方には研修修了証を発行いたします。

※本研修はオンラインで行います。受講に際しての情報端末(パソコン、タブレット等)ならびに通信手段は各自でご準備ください。

### プログラム

在宅がんのリハビリテーション診療の普及に向けての多職種連携

#### ●オープニング 13:30~13:35

「在宅がんのリハビリテーション診療の役割と課題」

辻 哲也 (慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室)

#### ●発表「在宅がんのリハビリテーション診療の実践」 13:35~14:25

・リハビリテーション科専門医の立場から

大森 まいこ (独立行政法人国立病院機構 埼玉病院リハビリテーション科)

・理学療法士の立場から

梅澤 達也 (医療法人循和会 朝霞中央クリニック訪問リハビリテーション)

・作業療法士の立場から

島崎 寛将 (社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会 富田林病院)

・言語聴覚士の立場から

澤 美菜子 (医療法人社団新国内科医院)

・看護師の役割と多職種連携

熊谷 靖代 (野村訪問看護ステーション)

#### ●講演「がん疼痛緩和への対応(仮題)」 14:25~14:45

宮田 知恵子 (独立行政法人国立病院機構 東京医療センター緩和ケア内科)

#### ●ディスカッション 14:45~15:30

・発表、講演に関する質疑

・在宅がんリハ診療の実践にむけて、知っておきたいポイント  
体制整備、医療機関との連携、多職種チーム、リスク管理などについて

司会: 辻 哲也

パネリスト: 本研修会の発表者

主催: 厚生労働科学研究費補助金 がん政策研究事業  
「がんのリハビリテーション、およびリンパ浮腫診療の  
一層の推進に資する研究(研究代表:辻 哲也)」  
共催: がんのリハビリテーション研修(CAREER)アドバンス研修

お問い合わせ: 厚生労働科学研究費補助金 がん政策研究事業「がん  
のリハビリテーション、およびリンパ浮腫診療の一層の推進に資する研  
究」運営事務局 メール: [ganreha.kaken@lpcsc.moo.jp](mailto:ganreha.kaken@lpcsc.moo.jp)  
Tel: 03-3265-1907 (平日9:00~17:00)